

福祉避難所の設置について

(2012年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名	集団での避難生活が困難な障がい者・児、特別な介護を含む援助が必要な障がい者・児、高齢者を対象とした、個室対応も可能とする福祉避難所を設置してください。
0	<p>愛知県</p> <p>福祉避難所の設置運営は、県の防災計画では市町村が取り組むこととされております。このため、本県では、阪神・淡路大震災発生後の平成9年3月に市町村向けの「災害時要援護者支援体制マニュアル」を策定し、時代に即した改訂を加え、要援護者の所在把握から災害発生時の安否確認、避難誘導、福祉避難所の設置運営まで一貫した対応ができるように、具体的な内容を市町村に明示しているところであり、このマニュアルにおいて、公的な宿泊施設、ホテル、旅館等、個室対応も可能な施設を福祉避難所として利用することも例示しておりますので、各市町村において、施設面で福祉避難所としての要件を満たしていると判断し、指定することも可能とされております。今後とも福祉避難所の確保について、市町村に対し引き続き要請してまいります。</p>
1	<p>名古屋市</p> <p>本市においては、平成19年度から福祉避難所の指定を開始しており、9月1日現在57か所を指定しております。バリアフリー化がされていることなどの指定要件を満たし、災害時に福祉避難所を運営することについて理解が得られた社会福祉事業を行う法人と施設ごとに協定を締結しています。</p> <p>一方、平成20年6月に厚生労働省から出されました「福祉避難所の設置・運営に関するガイドライン」の考え方として、災害時にすぐに避難できる「地域における身近な福祉避難所」として、通常の避難所の中に災害時要援護者に配慮した空間を確保するものと、障がいの程度の重い方など、地域における身近な福祉避難所では避難生活が困難な方を受け入れる「拠点的な福祉避難所」があります。</p> <p>「地域における身近な福祉避難所」として、小学校などの避難所において、通常の避難場所とは別の一定の空間を利用することは、災害時要援護者の安定した避難生活の確保のため、大変有効であると認識しており、今後、具体的な場所の確保、運営方法等について関係局等と調整をすすめてまいりたいと考えております。また、「拠点的な福祉避難所」の確保についても、老人施設や障害者施設の社会福祉施設に向けて、今後も協力依頼を行ってまいります。</p>
2	<p>豊橋市</p> <p>豊橋市は第1・第2指定避難所での避難生活が困難な避難者がいる場合に、公共施設9施設を緊急一時受け入れ施設として開設します。また、専門スタッフが配置され、生活するための設備も整っている民間福祉施設12施設と受入協定を締結し、要援護者への応急的な避難施設として使用できる体制を整えています。</p>
3	<p>岡崎市</p> <p>福祉避難所の協定を、老人福祉センター、知的障害者通所授産施設、特別養護老人ホーム、児童養護施設等の社会福祉施設(39施設)と締結しています。(平成24年4月1日現在)</p>
4	<p>一宮市</p> <p>平成24年4月から民間の障害福祉施設や介護保険施設と協定を締結し、福祉避難所を開設できる体制を確立しました。高齢や障害などにより指定避難所での生活が困難な方が利用できるものです。</p>
5	<p>瀬戸市</p> <p>障害者の方が避難を必要とした場合、避難所として施設又は設備を使用することについて、現在市内5か所の社会福祉施設と「災害時に災害弱者の避難施設として社会福祉施設を使用することに関する協定」を締結し、安心して避難できる場所を確保しているところです。具体的には、社会福祉法人が運営している4つの特別養護老人ホームと1つの知的障害者更生施設の計5施設です。新たな避難場所の設定につきましては、施設規模や人員体制などを鑑みながら、高齢者福祉課と調整した上、施設規模が大きいデイサービスセンターの運営法人にも協力を依頼してまいりたいと考えています。</p>
6	<p>半田市</p> <p>半田市では、「雁宿ホール」に開設されます福祉避難所において対処してまいりますが、発災の状況によっては、高齢者施設や障害者施設など市内35施設の協力を得るなど、援護を必要とする方々の負担軽減に努めてまいります。</p>

市町村名		集団での避難生活が困難な障がい者・児、特別な介護を含む援助が必要な障がい者・児、高齢者を対象とした、個室対応も可能とする福祉避難所を設置してください。
7	春日井市	地震等の災害発生時には、各小学校に指定避難所が開設されるとともに、市内12か所の公共施設には障がいのある方や高齢者など、避難時に特別な配慮が必要な方々を対象とした災害時要援護者避難所が開設されます。また、「災害時における要援護者等の受け入れに関する協定」を市内の民間社会福祉施設等と締結しており、特別な援助が必要な方を受入れていただくこととしています。
8	豊川市	福祉避難所につきましては、本市においては、3段階の福祉避難所を開設する計画であり、第1段階として一般の避難所に福祉スペースを、第2段階として市内6施設を公的福祉避難所に、第3段階として市内の社会福祉施設等13施設と協定を締結しており、障がい者や介護を必要とする高齢者等の福祉避難所として、段階的に設置する計画としています。
9	津島市	社会福祉施設との協定により、災害時に福祉施設として高齢者施設9か所及び障害者施設2か所を設けております。
10	碧南市	福祉避難所の協定締結に努めております。
11	刈谷市	福祉避難所として指定されている福祉施設には、和室等個室がありますので、必要に応じて開放していきます。また、備蓄品としてダンボールや襖材を利用した間仕切りを配備しております。
12	豊田市	※文書回答なし
13	安城市	現在の福祉避難所では、スペース等の関係上個室対応とはなっておりません。
14	西尾市	現往、西尾市看護専門学校や、民間の福祉施設との協定により、福祉避難所の確保をしておりますが、充分であるとはいえないため、今後も引き続き、障害、病状等に応じた福祉避難所の選定を進めてまいります。
15	蒲郡市	現在、福祉避難所を障害者施設2箇所115人、高齢者施設7箇所175人の収容で協定を結んでおりますが、個室対応は難しい状況です。
16	犬山市	この様な福祉避難所の設置は有効なものと考えますが、施設にも大きな負担となり、一自治体でできることには限りがあります。関係機関を含め検討していきたいと考えています。
17	常滑市	福祉避難所として障害者支援施設等を指定しております。今後のあり方について、どのように活用できるか、防災関係者と共に検討をしていきます。
18	江南市	個室対応はできませんが、一般の避難者より広い住居空間を確保した福祉避難所の設置に向け準備を進めています。
19	小牧市	現状の設備等の状況で個室対応は困難であるため、福祉避難所内では、パーティションなどで可能な限り、個別化を図れるよう努めてまいります。
20	稲沢市	稲沢市では、福祉避難所の指定はありません。今後国の中央防災会議で示されます、南海トラフの巨大地震等の被害予測等を参考にしながら、避難所の数等を含め、研究課題とさせていただきます。
21	新城市	市内3か所の福祉施設と協定を締結し、必要に応じて福祉避難所を開設することとしています。収容者数が十分ではないため、今後も協定締結先を増やし、避難生活に特別な配慮が必要な方への対応を充実してまいりたいと考えています。
22	東海市	避難所のスペースが限られているため、個室対応は難しいと考えますが、拠点避難所に一般の避難者と区分したスペースを確保することや既存の公共施設を利用すること等を検討してまいります。
23	大府市	現在、民間高齢者施設7施設、民間障がい者施設6施設の計13施設と災害時福祉避難所協定を締結しております。
24	知多市	災害時には市内福祉施設を福祉避難所として指定し、災害弱者の避難施設として施設等を利用することに関する協定を締結しています。
25	知立市	市内の特別養護老人ホームなど、日常的に福祉施設として位置づけられている社会福祉施設を福祉避難所と位置づけ、施設管理者や福祉部門と協力して福祉避難所としての協定を締結するなどして、福祉避難所の拡充を図っていきます。

市町村名	集団での避難生活が困難な障がい者・児、特別な介護を含む援助が必要な障がい者・児、高齢者を対象とした、個室対応も可能とする福祉避難所を設置してください。
26 尾張旭市	本市では、バリアフリーとなっている保健福祉センターを福祉避難所として指定し、また、介護が必要な方や障がいをお持ちの方、介護が必要な方などに対して、民間社会福祉施設等と協定を結んでおり、必要に応じて使用させていただくことになります。
27 高浜市	高齢者や障がい者など、特に配慮が必要な方の避難所として、市内の4ヶ所に福祉避難所を指定しています。また、個室対応については、間仕切りパーテーションなどで可能な範囲で検討したいと考えています。
28 岩倉市	今後、災害時に障がい者・児、高齢者を受入れ可能な民間社会福祉施設等と協議し、対応してまいりたいと考えております。
29 豊明市	保育園を災害時要援護者優先避難所として指定し、個室対応は無理ですが、間仕切りを備え、車イス対応の簡易トイレも整備しています。また市内の障がい音、高齢者施設と協定を結び、要援護者の避難体制を整えています。
30 日進市	要援護者の特性を踏まえ、避難生活に必要な空間を確保できるよう努めていきます。
31 田原市	平成24年度地域防災計画の修正に合せ、福祉避難所を設置予定(田原福祉専門学校、赤羽根福祉センター、渥美福祉センターの計3施設を予定。)しています。
32 愛西市	福祉避難所につきましては、未指定です。愛西市では、災害時に自力で避難ができない方(要援護者)に対する取り組みとして、平成22年3月に災害時要援護者避難支援プランを策定しており、地震や風水害等の災害発生時に安全に人命等の確保が図られるよう、要援護者名簿の作成や、福祉避難所をはじめ避難支援体制づくりを進めております。その一環として、厚生労働省の福祉避難所ガイドラインを参照し、また、東日本大震災の教訓記事や福祉施設関係者などの意見も聴き、福祉避難所の確保や避難支援のあり方について研鑽を重ね、福祉避難所候補の選定を行ってまいりました。本年9月26日に民間15団体18施設との協定を交わしました。今後は、福祉避難所として平常時からの連携と協力を図ってまいります。
33 清須市	高度な介護対応ができる施設は、介護技術力を有するスタッフが常駐する施設であり、名目上の福祉避難所であってはなりません。本市においては、協定締結により特別養護老人ホーム等へ避難ができるようにしています。
34 北名古屋市	災害状況に応じ、福祉避難所を開設し、必要に応じ、間仕切りダンボール等による個室スペースの確保に努めます。
35 弥富市	高齢者や障害福祉サービス事業所と協定を結び福祉避難所の指定をしている。
36 みよし市	※文書回答なし
37 あま市	所管課で協定を締結するなど対応しています。
38 長久手市	長久手市では、福祉の家を福祉避難所として指定しています。
39 東郷町	いこまい館を福祉避難所として指定しています。 また、災害時要援護者の避難施設として、特別養護老人ホームなど、5施設と災害協定を締結しています。
40 豊山町	災害時に避難所となるプライバシー配慮のため、間仕切りを順次備蓄しているが、ダンボールの間仕切りを製造している会社と協定を締結し、優先して調達できるようにしています。なお、福祉避難所として総合福祉センターしいの木を指定しています。
41 大口町	町内の福祉施設など各施設と協定を結びできる限りニーズに合った対応ができるように努めております。また、避難が困難な方などに対し、地域の避難所として学習等共同利用施設等を避難所指定できるように進めています。
42 扶桑町	福祉避難所については、現在検討中です。
43 大治町	福祉避難所の指定とその充実を図っていく。
44 蟹江町	今後介護施設と協定締結し福祉避難所として指定していきたいと考えています。
45 飛島村	民間の医療機関等と連携を図りながら、福祉避難所を検討していく。

市町村名	集団での避難生活が困難な障がい者・児、特別な介護を含む援助が必要な障がい者・児、高齢者を対象とした、個室対応も可能とする福祉避難所を設置してください。	
46	阿久比町	本町は、町内の特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人与災害時に介護保険の要介護認定者など避難所では対応が困難な要援護者を受け入れていただく福祉避難所として当該法人の施設を使用させていただくための協定を結んだところであります。なお、介護保険の要介護認定者に準ずるような災害時要援護者の受け入れ範囲や個室対応の可否などについては、今後、協議していくこととしています。また、同様の協定の締結先の拡大についても、今後検討してまいります。
47	東浦町	現在の福祉避難所は、個室対応ができないので、個室対応も可能な福祉避難所の設置について検討してまいります。
48	南知多町	現在のところ予定はありません。
49	美浜町	小学校等の避難所に、福祉避難所としての機能を特たせることは、現在予定していませんが、昨年この時期には設置していなかった福祉避難所として、介護系2箇所、障害系5箇所を、災害時における要援護者の避難施設に関する協定の締結により設置しました。これらは、平常時においても介護系及び障害系の福祉施設として運営されている施設の協力を得たものですので、当該施設の能力及び施設に関して可能な範囲で要援護者対応をできるものであります。 今後も協定の締結施設が増となるよう、努力していきたいと考えています。
50	武豊町	町内の福祉避難所は7箇所指定しております。
51	幸田町	特別養護老人ホーム、老人福祉施設等の施設と災害時における高齢者の受け入れについて、協定の締結をしていきます。障害者・児及び高齢者の避難所については、障害者地域活動支援センター、高齢者生きがいセンター、老人福祉センターを必要に応じて開設します。また、専用スペースの確保や担当者の派遣に努めます。
52	設楽町	努力します。
53	東栄町	現在、福祉避難所は設置されていないが、今後防災担当と協議して対応したい。
54	豊根村	個室対応については考えていません。